

粘液線維肉腫における CD44 及び CD109 の発現と予後に関する研究

1. 研究の対象

対象は、1992年1月から2016年12月までに、秋田大学医学部附属病院並びに共同研究施設において、病理組織学的に粘液線維肉腫と診断された方。

2. 研究目的・方法

粘液線維肉腫は高齢者の四肢や体幹に好発する悪性軟部腫瘍である。組織学的悪性度は比較的低いことが多いが、局所浸潤能は高く腫瘍切除後の局所再発率が高いことが知られている。標準治療は原発腫瘍の広汎切除であるが、悪性度が高い場合は化学療法が選択されることもある。局所再発率が高いことはよく知られているが、遠隔転移も比較的生じやすく、転移部位が大きく予後に影響する事になる。しかしながら、その治療成績の報告は少なく、とりわけ遠隔転移の出現部位と予後に影響する因子の解明はほとんどなされていない。これまでの報告では、CD44v6、CD109の発現が多い症例では予後が悪く、CD44sの発現が多い症例では予後が良い事が報告されているが、まだ報告されている症例数が少なく、遠隔転移発生部位との関係も明らかでないのが現状である。本研究により粘液線維肉腫の遠隔転移発生部位と予後との関係が明らかになれば、その臨床像と治療に対する反応を理解した適切な治療が可能になることが期待される。

本研究の目的は、粘液線維肉腫遠隔転移症例において、手術による切除や生検により採取した腫瘍組織を用い、CD44とCD109の発現を検討する事で、予後と遠隔転移発生部位との関係を明らかにすることである。

適格症例の診療情報(匿名化)を症例調査票に記入する。これらの症例の過去に採取された腫瘍組織に対して、免疫染色組織標本作製し評価する。匿名化された診療情報を集計し、全症例の腫瘍学的成績と組織標本の結果について解析する。

研究実施予定期間は臨床研究審査委員会承認後、病院長承認日から平成31年12月31日までとする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

収集された診療情報に関しては、年齢、性別、腫瘍の部位と大きさ、手術の詳細情報、術後合併症、腫瘍学的転帰、遠隔転移出現の有無と部位、施行した化学療法・放射線療法などの項目をまとめる。これらの症例の過去に採取された腫瘍組織に対して、CD44s、CD44v6、CD109の免疫染色組織標本作製し、診療情報と併せて解析する。

4. 外部への試料・情報の提供

当院外への情報の提供は行わない。

共同研究機関からの情報は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でデータセンターへ提供し、対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

秋田大学附属病院	整形外科	土江博幸
		永澤博幸
札幌医科大学付属病院	整形外科	江森誠人

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：秋田県秋田市広面字蓮沼 44-2 秋田大学医学部附属病院 整形外科学講座

電話番号：018-834-1111

担当者の所属・氏名：秋田大学大学院医学系研究科整形外科講座 土江博幸

研究責任者：秋田大学大学院医学系研究科整形外科講座 土江博幸

研究代表者：秋田大学大学院医学系研究科整形外科講座 土江博幸

-----以上